

そくほう  
速報

株式会社日立ビルシステム

日立ビルソリューションラボ

日立グループが持つ革新的な技術を学ぶ

-“あなたを思いやること、心地よくすること”を実現するために-

## ↑↓ エンジニア研修施設と管制センター



日立ビルシステムはエレベーター・エスカレーターを中心としたビルの設備の設計製造・据え付け・メンテナンス・リニューアルを行っている。日立ビルソリューションラボは、亀有駅近くにあり、エレベーター・エスカレーターのメンテナンスの実機研修や、建物内の管制センターでエレベーターの遠隔監視などを見学できる。

## ↑↓ エレベーターの閉じ込め体験(管制センター)

日立ビルシステムは遠隔監視システムヘリオスでエレベーターを約200項目で診断し、故障の前兆を自動登録し、点検時に重点チェックすることで予防保全する。

管制センターでは閉じ込め対応のほか、故障の遠隔サポートも行う。見学会では管制センターの協力の元、本番さながらに閉じ込め時の遠隔サポート体験をした。閉じ込め時は行き先階を示す液晶画面がTV電話に切り替わりセンターのオペレーターが復旧対応する。体験してわかったが、オペレーターの対応は極めてスムーズであり、実際に閉じ込めに遭遇した場合でも安心して対応をお任せできると確信できた。

## ↑↓ エレベーターの管制運転(停電時)

実機のエレベーターで乗車中に停電を発生させる避難体験をした。ズドンと衝撃はあったが、すぐに非常用LED照明で暗闇から解放され、右図のような液晶表示と音声案内が流れて安心する。その後はゆっくり自動運転され近隣階で脱出できた。



▲イメージ

## ↑↓ エレベーターのセーフティ

実物のエレベーターで安全対策を紹介した。ドア周りは「ドアシグナル」「マルチビームドアセンサー」「ケアフルセンサー」「ケアフルドア」の4つのセンサーが「挟まれ」を防止し、ランプの点滅で利用者にドアが閉まるタイミングを知らせる。かご内の防犯カメラでは映像解析で倒れている人を検知する。エレベーターのかごと乗り場の隙間も少なくした。

## ↑↓ エスカレーターのセーフティ

安全機能を実際に体験した。「可変速運転システム」は高齢者等がゆっくり乗って来る際、速度を自動で落として事故防止する。「ソフトストップ機能」は緊急時にアナウンスが流れ、衝撃を抑えて停止する。「無人時微速運転」は省エネ時も停止せずゆっくり運転し、利用者が誤って逆向きに乗り込むことを防ぐ。



実技研修の機器も見学した。座学をしながら実機の実習をできる様にしている。エレベーターのシミュレーターでトラブルシューティングの研修をする。

## ↑↓ エレベーター・エスカレーターは安全な乗り物

「エレベーターのロープが切れたらどうなるんだろう？」誰しも1度は考えた経験があるはずだ。今回の見学で答えがわかった。「ロープは複数あるため1本切れても落ちない」「全部切れてもブレーキがレールを固定して落ちない」「ブレーキがダメでも緩衝器で衝撃を和らげる。」さらに、遠隔監視を行うとともに充実した研修施設でエンジニアがメンテナンスの実技訓練をしている。

見学会を通じてエレベーター・エスカレーターが安全で快適な乗り物だと確信できた。見学に協力いただいた日立ビルシステム様にお礼申し上げます。